



東北大学

報道機関各位

2011年 3月 2日
東北大学大学院生命科学研究科

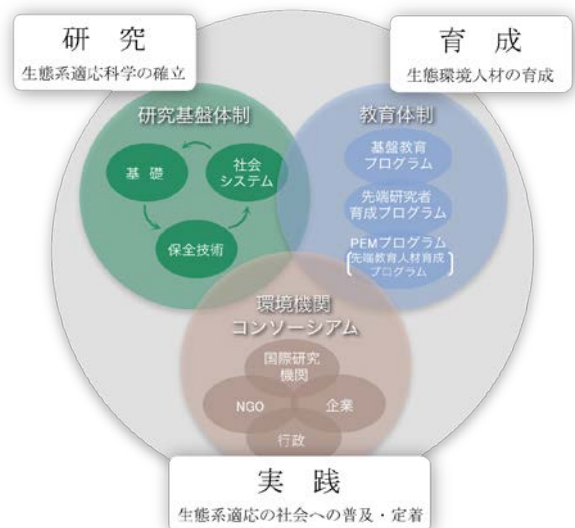
東北大学生態適応 GCOE「環境機関コンソーシアム」交流会 開催のご案内

<概要>

これまで私たち人類は、自然をコントロールし、その脅威を克服する事によって生活を維持してきました。しかし今、温暖化や人間の活動そのものによって地球環境が激変し、重大な問題が起きています。生態系や生物には、元来、環境変化に適応する力が備わっています。実はこの自然の持つ適応力を利用したほうが、効果的で社会的パフォーマンスも良いという可能性があります。東北大学「生態適応グローバル COE*」では、自然を克服するのではなく、その適応力を活かした解決方法を見いだすため、新しい環境科学の研究教育拠点を設立しました。

前述の内容を学際的に研究し実践するためには、基礎研究だけでは不十分で、社会との協働と実践が不可欠です。志をともにするものが集い、課題の共有化、成功事例の研究、人材の交流、研究成果や情報の発信などを行っていけば、今できること、やるべきことが見えてくるはずです。そこで東北大学グローバル COE では、研究機関、企業、自治体、NGO などで構成される『環境機関コンソーシアム』を設立しました。コンソーシアムとは「研究するための協議、会議」のグループです。

生態学の専門的知識を学んだ学生が、将来様々な分野で活躍するためには、このようなコンソーシアムと学生の交流の中で、課題を共有し、互いのニーズを擦り合わせながら方法を模索する必要があります。また、設立から3年目の今年、コンソーシアムでは、大学との連携の中で様々な研究成果、活動成果が出てきました。そこで、コンソーシアムの成果発表と学生との交流を目的として、下記の日程で交流会を開催いたします。普段なかなか会う機会のない学生-学生間はもちろん、学生-企業・NGO・その他団体間においても、より深い交流を行えるようさまざまな企画を用意しております。環境機関コンソーシアムの活動について広く一般の方々にご紹介いただきたく、ご案内させていただきます。参加の際は、下記問い合わせ先までご連絡いただきますようお願いいたします。



記

日時：3月4日（金）13：00～19：00

場所：東北大学生命科学研究科プロジェクト総合研究棟 1階講義室

（宮城県仙台市青葉区片平二丁目 1-1 東北大学片平キャンパス内）

《交流会プログラム》

環境機関コンソーシアム活動報告

- ・企業緑化を対象とした生物多様性緑化ガイドライン作成（（株）竹中工務店 三輪隆氏）
- ・田んぼ実習報告と今後の展開

（NPO 法人田んぼ 岩渕成紀氏 / 生命科学研究科教授 占部城太郎）

- ・生物多様性オフセット研究会報告／コンソーシアム今後のテーマと展望

（株式会社レスポンスアビリティ代表取締役 足立直樹氏）

- ・エコキッズの取り組みの紹介（宮城県環境生活部 齋藤陽子氏）

講演

- ・タイガの森とアムールオホーツクプロジェクト

（（財）地球・人間環境フォーラム 坂本有希氏 / （株）リコー 岸和幸氏）

- ・「いきものがたり」プラネタリウム映像紹介（Think the Earth プロジェクト 上田壮一氏）

交流会

- ・ディスカッション（学生とコンソーシアムメンバーが分科会形式で討論）
- ・学生と企業によるポスターセッション

※ COE : center of excellence（卓越した研究拠点）。国際競争力のある世界最高水準の研究教育拠点を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るため、文部科学省が 2002（平成 14）年度より推進しているプログラム。

（お問い合わせ・取材等のお申し込み先）

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学生命科学研究科生態適応 GCOE

担当：竹本 徳子 特任教授

電話番号：022-795-3637